



帯広西ロータリークラブ

第2297回例会

2019.11.21

会報



■RI第2500地区テーマ■

知らずで語れず! ~ロータリーを学び、ロータリーを語り、ロータリーを楽しみ、そしてロータリーに誇りを持つよう~



■クラブ・テーマ■

会員同士互いによく語り合い、友情と奉仕の輪を広げ、更に魅力ある西クラブにしよう!

会長報告

若林 剛 会長

14日の例会を休ませてもらいました。久保副会長、挨拶ありがとうございました。広報委員長の辻田さん仕事が早いです。フェイスブックに既に先週の例会がアップされています。久保副会長の熱の入った挨拶の写真と、ニコニコの催促PRをしているのでしょうか?新しいニコニコ用紙を持った藤本親睦委員長の笑顔の写真が大変印象的でした。



奥委員長の「会員情報深堀」ご苦労様でした。来週28日は屋台村の移動例会、翌週はいよいよ次々年度会長を決める総会。翌週には年末家族会、その次はもう年越しそば例会で、今年が終わってしまいます。これからの一か月間、走馬灯のように過ぎそうです。

既に年末家族会の案内が届いていると思います。ご家族を含めたくさんの会員・ご家族で、令和の幕開けの親睦を深めたいと思います。11月第三木曜日はボジョレーの解禁日ですから、毎年、西ロータリーの例会は解禁日にあたります。明日はブラックフライデーです。そして、感謝祭明けの火曜日が「GIVING TUESDAY」になります。「寄付の火曜日」と呼ばれる12月3日(火)には、ぜひロータリー財団へのご寄付をご検討ください。先週名古屋だったのですが業界の人がRCの会長をやられてる方がたくさんいらっしゃって会長が出られないときは休会ということでした。全国にはいろいろなクラブがあるのだと思いました。今後も休まずに頑張りますのでよろしくをお願いします。

会務報告

河西智子 幹事

- ①帯広南RC、夜間例会開催のご案内
日 時 11月25日(月) 午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ②帯広RC、移動例会開催のご案内
日 時 11月27日(水) 午後0時30分
場 所 帯広第一病院
- ③ 帯広西RC、夜間移動例会のご案内
日 時 11月28日(木) 午後6時30分
(石川屋ビル5Fシャレード集合)
場 所 北の屋台(※シャレードで例会セレモニーをしてから北の屋台へ移動します)
- ④帯広北RC、11月29日(金)の例会は、休会と致します。
- ⑤帯広西RC、年次総会開催のご案内
日 時 12月5日(木) 午後0時30分(例会時)
場 所 北海道ホテル
- ⑥帯広西RC、年末家族会開催のご案内
日 時 12月12日(木) 午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ⑦各ロータリークラブ、年末家族会開催のご案内
 - ・帯広南ロータリークラブ
日 時 12月1日(日) 午後6時30分
場 所 北海道ホテル
※尚、12月2日(月)の繰上げ例会と致します。
 - ・帯広ロータリークラブ
日 時 12月11日(水) 午後6時



会 長 若林 剛 副会長 上垣香世子 会場監督理事 近藤 真治 発行：広報委員会
幹 事 河西 智子 副会長 久保 且佳 プログラム委員理事 奥 敏則 委員長 辻田 茂生 (副)松原 宏樹



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

場 所 ホテル日航ノースランド帯広
 ・帯広北ロータリークラブ
 日 時 12月12日(木) 午後6時30分
 場 所 ホテル日航ノースランド帯広
 ※尚、12月13日(金)の繰上げ例会と致します。

200年目指しこれからもがんばります。

奥 敏則 委員長

先週の例会で、後半の会員の紹介を早送りして申し訳ありませんでした。またの機会にお披露目したいと思えます。

佐藤 聡 会員

無事タイから帰国しました。チーズ完売で大好評に感謝です。

ニコニコ献金

古田敦則 親睦活動委員

上野 裕司 委員

担当例会です、宜しくお願いします。

伊東 肇 会員

一連の100周年事業では大変お世話になりました。



ニコニコ 11月21日 8,000円
 献金 累 計 339,016円 (11月21日現在)

プログラム

米山記念奨学委員会

「奨学生の選考とこれからの要望について」 上野裕司 委員長



<米山記念奨学会奨学生の選考と運営の展望>

米山記念奨学会は、財団設立より50年を経過し、東アジアを中心にいろんな途上国の支援をしてきました。そして、それらの成果はすばらしいに尽きるものです。しかしながら、現状は、後述するデータが現れてきています。今回は、奨学生選考の経過と実態をみて貰うことから、米山記念奨学会に興味をもっていただきたく、企画しました。

現在、奨学生のロータリークラブの推薦制度は廃止されており、こうした年間スケジュールのシステムは、その意図が如何にも文部科学省が考えそうな全国画一にして、透明で、公平ということであり、現実には難題にしてみたり実行性には疑問が浮かびそうです。そうした運営について、これまでの結果は米山記念奨学会への連絡事項から観ていくと各地区からの要望で米山記念奨学生を一カ国に偏らないでほしい、これらは、その奨学金受給者の多くが中国韓国に偏っていたことを示しています。試験競争の厳しい環境にあって既に情報社会である中国、韓国という国で、奨学会の選考方法の対策済みだったとしたら、こうした選考方法や運営に対する対処は簡単と言えるし、反対に予備校も何もない途上国では、その対策は難しいでしょう。したがって、RCの大切な寄付が否応なしに中国韓国にいつてしまひ、ほかの途上国の人たちに渡りにくいことになります。

さて、お見せする動画は、ネットTVなどを主催する会社から提供されているものでスタンフォード大学フーバー研究所教授、西鋭夫教授により同研究所での研究から発表されているものです。

動画1は、日本がどんな国の学生を支援すべきなのかに、興味を持って頂きたいがためのものです。動画2は、余談的な感じですが今の日本が貧しく教育にしる国の魅力にしる、世界でのどんな国なのかを投げかける感じです。次に、米山

記念奨学会のホームカミング制度のご案内からのデータです。奨学金受領後の状況であるホーム制度を利用した学友からの報告です。実際、中国韓国の学友が財界人であるに対して、東南アジアほかの方々とは日本との国家や地域に根付いた公的活動をする地位により就かれていると感じるのです。

動画3は、学業だけにこだわった主旨とは、思えません。西教授が云われるのは、スポーツにしる、学業にしる、そしてビジネスにしる、頑張って成果を生む人を国民や国が支援しようとする志に、あると思いました。米山記念奨学会にあてて思うに途上国や日本人も含めた魅力ある個人に対して、日本でこそ、奨学生を大きく育てられることを望みたく思います。とするならば、米山記念奨学会が公正とか資質の高いとかの基準で奨学生を選考した上、手間暇掛けて何時までも管理するよりも、アメリカタイプの奨学金制度を参考に、より日本的で、人の魅力を育てる手法に特化できたらと思えますし、もう、官僚主導の制度は、終わりにして欲しくないでしょうか。皆様の貴重な寄付をいただいて活用して貰うために、皆様には、積極的な声を上げていただきたいと思えます。

米山記念奨学会に多くご理解とご支援をお願い致します。ご静聴ありがとうございます。

年間スケジュールと米山委員長の実務

地区での年間計画を立ててください

下記は、米山記念奨学委員会のスケジュールです。事前に新年度の行動計画を立ててください

時期	事項	委員長が行っていただきたいこと
2月～3月	PLTS 初年、次期クラブ役員	・ガバナー、ガバナーエレクト、次期ガバナー候補の協力のもと、米山部門の時間を助ける 米山奨学事業の奨学生支援の意識と寄付促進に対する理解を広げる説明を行う
3月～5月	地区協議会 役員、次期クラブ役員、幹事、理事、主要な役員の名義長	
4月中旬～5月	新奨学生オリエンテーション	連絡書と奨学生の心構えを説明する
6月中旬	【奨学生主催】委員長セミナー	次年度委員長が対象
6月以降	学校訪問 指定校選定委員と指定校の選定 (7月中旬指定校決定)	学校に米山奨学事業の目的と地区の奨学生支援方針を伝える 指定校選定委員を指名する 指定校と協議関係第一歩確立を促される
	クラブ米山委員会役員会	クラブ米山委員会が機能するようにクラブ米山委員に米山奨学事業への理解を広げる